

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

地域住民の生活や地域内外との交流・観光に不可欠な公共交通機関として、列車の安全・安定運行を第一として経営を行う

2 中長期の経営戦略

1. 新型車両導入と施設維持更新

新型車両導入や鉄道施設の維持更新を進め、将来にわたり持続可能な輸送体制を確保

3. 人材育成と技術継承

社員の高齢化や退職者の増加に対応し、運転士をはじめとする専門人材の確保及び技術継承を推進

2. 観光列車による需要創出

観光列車「のと里山里海号」、震災語り部観光列車及びポケモン列車を活用し、交流人口の拡大と新たな需要の創出

4. 自然災害への備え強化

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨の経験から、自然災害への備えを強化する必要性を認識

3 対処すべき課題

① 利用者減少への対応

- ・沿線人口減少と少子化による通学利用者の減少
- ・自家用車への依存高まりによる鉄道利用者の長期的減少
- ・震災による人口流出で利用者減少さらに加速

② 施設と経営環境の悪化

- ・鉄道施設の老朽化に伴う維持管理費と設備更新費の増加
- ・物価高騰とエネルギー価格上昇による経営環境の悪化
- ・令和6年能登半島地震と奥能登豪雨による甚大な被害

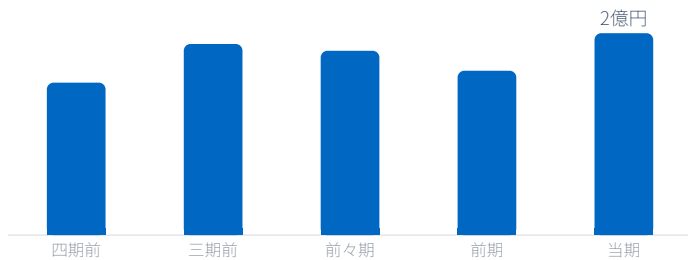
③ 人材確保と技術継承

- ・社員の高齢化と退職者の増加に伴う人手不足の深刻化
- ・運転士をはじめとする専門人材の確保が急務
- ・技術継承体制の構築が重要課題

面接で使えるポイント

- ・七尾・穴水間で1991年9月から運行している地域鉄道として、通学利用を中心とした輸送を支える
- ・観光列車「のと里山里海号」やポケモン列車など、新たな需要創出で交流人口拡大に取り組む
- ・令和6年能登半島地震からの復旧を進めながら、地域の復興と活性化を担う公共交通機関

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
鉄道事業法による鉄道事業で、その他事業として国内旅行業及び物品販売業等を行ってお

主力事業・セグメント

- ・陸運業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

18点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 38.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

